



安心して、元気で 暮らせるまちづくり

に重点を置いた予算編成

平成31年度の一般会計の総額は215億4000万円で、前年度と比較して9億円の増額、率にして4.4%の増となりました。予算の概要と各分野の主な事業について紹介します。

問合せ先 財政課財政担当

新たな総合計画の スタートに向けて

平成31年度の予算編成に当たっては、第5次鶴ヶ島市総合計画の事実上の最終年度となることから、総合計画に掲げた将来像の実現の総仕上げと、新たな総合計画のスタートに向け、「鶴ヶ島は 元気にする」を念頭に、「安心して暮らせるまちづくり」、「元気で暮らせるまちづくり」に重点を置いて臨みました。



本市の財政状況につきましては、歳入の根幹である市税については、前年度と比べ増額となる見込みであるものの、依然として財源不足を基盤入金や地方交付税、臨時財政対策債などに頼らざるを得ません。

また、歳出においては、今後、少子高齢化がさらに進展し、人口減少の時代が進む中で、将来にわたって健全な行財政運営を行うためには、時代の変化や市民ニーズを的確にとらえ、「選択と集中」に

よって事業を重点化していく必要があります。

未来の子どもたちへ

そこで、人口減少の克服に向けた取組みや、都市計画道路をはじめとした都市基盤整備など、未来への投資につながる施策を着実に推進し、市民が安心して暮らし、鶴ヶ島の将来を子どもたちに託せる市政の実現に向け、各事業を実施していきます。

鶴ヶ島市長 齊藤芳久

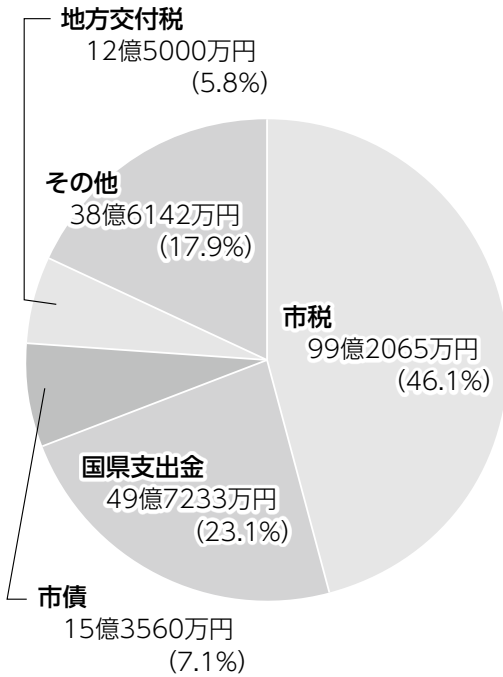


一般会計

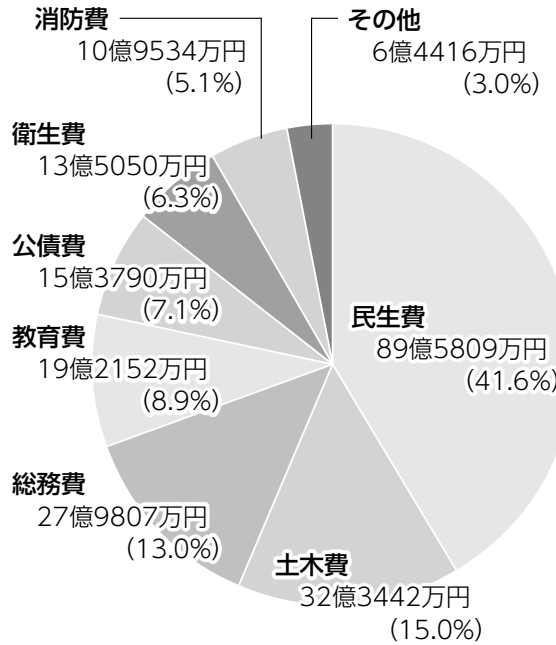
福祉、教育、道路整備などの基礎的な行政サービスを行う会計です。

215億4000万円

歳入



歳出



■市民1人当たりの歳出予算額は
約30万7083円です

民生費	12万7710円
土木費	4万6111円
総務費	3万9891円
教育費	2万7394円
公債費	2万1925円
衛生費	1万9253円
消防費	1万5616円
その他	9183円

※平成31年1月1日現在の人口7万144人で算出

解説！財常用語

歳入	
市税	市民税、固定資産税などの税収入
国県支出金	特定の事業のために国・県から支出されるお金
市債	大きな事業などを行うために市が借入れるお金
地方交付税	市の財政状況に応じて国から交付されるお金
歳出	
民生費	子どもや高齢者、障害者などの福祉全般の事務・事業に使うお金
土木費	道路、公園整備などに使うお金
総務費	住民窓口や課税徴収、IT化など市の総合的な事務に使うお金
教育費	学校運営や生涯学習、スポーツなど教育全般に使うお金
公債費	借金を返済するために使うお金
衛生費	保健衛生や公害対策など安全で衛生的な生活のために使うお金
消防費	消防や災害対策に使うお金

特別会計 126億1114万円

特定の歳入・歳出をもって一般会計とは経理を別にする会計です。鶴ヶ島市には、5つの特別会計があります。

会計名	予算額	前年度比
国民健康保険	67億7230万円	-3.8%
後期高齢者医療	7億4699万円	6.1%
介護保険	43億7292万円	13.2%
一本松土地区画整理事業	3億 317万円	8.7%
若葉駅西口土地区画整理事業	4億1576万円	-3.8%

会計別の予算額

区分	予算額	前年度比
一般会計	215億4000万円	4.4%
特別会計	126億1114万円	2.4%
合計	341億5114万円	3.6%

※ 各予算額は、万の位で四捨五入をしているため、各項目の積み上げと合計が一致しない場合があります

主な事業の 概要と予算額

新 平成31年度新規事業

新 ※ 平成30年度補正予算で新規事業として計上した事業

健やかで安心できるまち(健康・福祉・安心安全)



健康長寿推進事業〔介護保険特別会計〕 1613万円
(うち一般会計からの繰出金194万円)
介護保険特別会計の健康長寿推進事業と一般会計の健康増進関係事業で、従来の介護予防にフレイル予防を加えた健康長寿施策を一体的に推進します。

自動体外式除細動器整備事業 343万円
市民の尊い命を守るため、市内公共施設に設置している自動体外式除細動器(AED)について、より有効に活用するため、一部のAEDの設置場所を屋内から屋外に変更して利用時間の拡大を図ります。

感染症予防対策事業 1億8600万円
予防接種法に基づく予防接種を実施し、感染症の発症および拡大を未然に防止することで、市民の健康維持を図ります。風しんについては、特に抗体価が低い年齢層の男性を、3年間定期接種の対象とすることとなったため、抗体検査も含めて実施します。

災害対策事業 675万円
災害時に迅速かつ的確に情報を収集・伝達するため、防災行政無線の維持管理を行うとともに、災害直後の食料・生活必需品などの備蓄体制の充実を図ります。また「鶴ヶ島市防災ハザードマップ(地震・水害)」を全世帯へ配布し、防災意識の啓発および向上を図り、被害の軽減、住宅などの耐震化の促進に努めます。

活力に満ちたまち(コミュニティ・市民協働・産業)



オリンピック・パラリンピック推進事業 987万円
東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、JOCオリンピック教室や鶴ヶ島市出身候補選手交流会などの開催により、市民の関心を高め、大会機運を醸成します。また、ミャンマーのホストタウンとして、幅広い交流を進めながら、子どもたちの育成やシティプロモーションなど地方創生につなげます。

地域支え合い推進事業 1560万円
地域住民が、NPO法人などの市民活動団体、企業などとの連携・協力により、日常の暮らしの中で共に支え合い、助け合いながら、地域の課題を地域で解決できる仕組みづくりを支援します。

新 都市農業振興計画策定事業 8万円
時代や現状に即した農業施策の方向性を示す「鶴ヶ島市都市農業振興計画」を策定し、今後の鶴ヶ島市の農業の持続的発展を図ります。

ふるさと振興発信事業 2億3276万円
ふるさと納税制度を積極的に活用することにより、鶴ヶ島の魅力や地域資源を広くPRし、シティプロモーションの推進を図ります。また、ふるさと納税の記念品として市内事業者を中心としたパートナー企業の商品を利用することで地域経済の活性化を図ります。

快適に暮らせるまち(環境・都市整備)



公園管理事業 1億2816万円

既存公園並びに運動公園の清掃および樹木管理、公園施設の保守点検などを行います。また、策定済みの公園施設長寿命化計画および年一回の定期点検における点検結果に基づき、公園遊具の修繕および更新を行います。

都市計画道路整備事業 6億6611万円

埼玉県による圏央鶴ヶ島インターチェンジ東側土地区画整理事業(農業大学校跡地)と連動した都市計画道路の整備により土地活用の促進および円滑な道路網の確保を図ります。

道路交通環境安全対策事業 3478万円

道路照明灯のLED化を推進し、照明灯の長寿命化と必要経費の削減を図るため、既設照明灯の調査業務を行います。また、道路の摩耗した区画線の再施工を行うことにより、交通環境の向上・安全確保に努めます。

新 企業立地推進事業 438万円

国道407号バイパスの整備による効果や、圏央鶴ヶ島インターチェンジ東側土地区画整理事業地内(農業大学校跡地)に立地する企業の波及効果を市内で循環させるため、新たな産業用地の可能性を検討するとともに、企業立地の推進を図ります。

人を育むまち(子育て・教育・生涯学習)



新※ 子ども・子育て支援事業計画策定事業 157万円

安心して子どもを産み育てることができるよう、幼児期の教育・保育の提供体制や子育て支援事業の充実を掲げた「第2期子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

新※ 学童保育室建設事業(南小学校区) 4668万円

入室児童数が増加していることから、待機児童を出さずに児童を受け入れることができるよう、既存の学童保育室に隣接した場所に、新たな施設を建設します。

新 小・中学校教育系ICT環境整備事業 3528万円

新学習指導要領の全面实施を見据え、小・中学校の教育系ICT環境を整備します。

教育相談・いじめ防止対策事業 1831万円

児童・生徒、保護者の学校に関わる悩みなどに応じる教育相談員、スクールカウンセラーおよび小・中学校巡回相談員を配置することによって、いじめ・不登校などの問題解決を図ります。また、ハイパーQUを実施し、児童・生徒の人間関係や学級集団の状況を把握し、いじめ・不登校などの未然防止を図るとともに、ハイパーQU活用のための研修会を教職員に対して実施し、児童・生徒などを継続的に支援します。